

パブリックコメント（意見公募手続）制度実施事案に対する意見提出書

平成 25 年 9 月 20 日

案件名	八幡浜市の都市計画に関する基本的な方針（案）について
住所（必須）	〒796-0003 八幡浜市太平 1-827 B401
氏名（必須）	越智元郎
意見等	<p>「八幡浜市の都市計画に関する基本的な方針」への意見</p> <p>市立八幡浜総合病院麻酔科・救急部 越智元郎と申します。特に防災、災害医療の観点から「八幡浜市の都市計画に関する基本的な方針」への意見を申し述べさせていただきます。</p> <p>■ 1</p> <p>「III.都市づくりの課題」／「1. 八幡浜市の現状と動向からみた都市課題（p.42～43）」ではリアス式海岸部や低平な埋め立て平地等に形成された木造家屋を主体とする市街地・集落地では甚大な被害の発生が予想されること、広域避難等を含めた原子力防災対策の見直しが急務となっていることが述べられています。そして主要な都市課題として「④ 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故の発生をふまえた都市防災対策の見直しと展開」具体的には以下の2つの課題が挙げられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・津波災害規模想定的大幅な見直しと地域条件をふまえた対策の展開 ・伊方原子力発電所における過酷事故発生時への対応策の検討 <p>このことについて、「V. 都市づくりの方針」／「(1)都市防災対策の見直しと強化（p.82）」の記載がありますが総論的で具体的なプランが示されていないと感じます。</p> <p>私は市立八幡浜総合病院救急・災害医療の責任者ならびに愛媛県・八幡浜市の災害医療コーディネーターとして以下のことを提案させていただきます。</p> <p>1) 八幡浜市地域防災計画において救護所ならび救護班の立ち上げと運営に関する具体的な計画立案をお願い致します。</p>

2) 大災害時において救護所・救護班を立ち上げ、運用するにあたり、八幡浜医師会の協力は欠かせません。八幡浜市から八幡浜医師会に対し、災害時の協力を要請し、事前の協定締結を御願いできませんでしょうか。このことについては松山市と松山市医師会との協定が参考になります。ご参照のほどお願い致します。

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/hodo/201203/kyugo.html>

3) 原子力災害時の入院患者や社会福祉施設入所者の広域避難に関連して以下のことをご検討いただけませんか。

- ・八幡浜・大洲圏域における入院患者、社会福祉施設入所者および在宅要援護者の数と質（歩行、座位が可能かどうかなど）について、調査・把握をお願い致します。

- ・八幡浜市における入院患者、社会福祉施設入所者および在宅要援護者の転院先、受け入れ先については、風向き、必要となる避難距離ごとに、具体的な計画を立て、転送元・受け入れ先双方の間の事前協定なども締結していただきたいと存じます。

- ・放射線災害時の患者等の避難に際して搬送・治療にあたる職員が全員、個人線量計による被ばく線量の評価と記録ができるよう、市立八幡浜総合病院などに職員の数分の個人線量計を確保していただきたいと存じます。

- ・入院患者などの転院先が決まらない場合、特に重篤な患者に関しては避難所などへの搬送は危険であり、八幡浜市内の病院などにとどめて治療を継続せざるを得ない場合があります。患者および職員が病院にとどまる間に必要となる食料等に関して、備蓄に関する財政的補助やヘリコプターを用いた補給などの体制を整えていただきたいと存じます。

- ・入院患者などの転院先が決まらない状況で、特に重篤な患者を八幡浜市内の病院などにとどめて治療を継続する場合に、患者や職員の被ばくを最小限とするために施設にエアフィルターなどを設置できるよう、財政的な支援をお願いしたいと思います。

- ・八幡浜市において原子力災害を念頭に置いた災害訓練を計画される場合に、入院患者、社会福祉施設入所者および在宅要援護者の搬送訓練をも実施していただきたいと存じます。

■ 2

「Ⅴ. 都市づくりの方針」／「(2)防災・減災対策としての避難路整備の推進 (p.82)」は、八幡浜市の都市計画のきわめて重要な事業として、県・国にも働きかけ、成果を上げて下さることを希望します。

■ 3

さらに「Ⅴ. 都市づくりの方針」／「(3)長期的防災都市計画として」という趣旨で以下のことを提案させていただきます。

現在の市役所や八幡浜中心地の学校等は南海・東南海大地震では津波浸水の危険性があります。新築間近の市立八幡浜総合病院につきましても、1階部分の津波浸水の危険性があり、津波警報が出ている数時間の間、救急車の受け入れが困難になると考えられます。20年30年といった長期視野に立てば、現在の市役所や八幡浜中心地の学校、市立八幡浜総合病院などを高台に建て替える必要があり、この10年の目標としては候補地の選定、土地取得、例えば運動公園や大型ヘリコプター用のヘリポートとしての使用開始などの事業を行う価値があると考えます。

以上、防災・災害医療関係者として、八幡浜市の都市計画についての意見を述べさせていただきました。御検討のほど、よろしく御願い申し上げます。